

# つくる。 幸せ色あふれる

相模原 政策集  
2023

もとむら賢太郎さんが  
政策を発表しました！



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

日本一のSDGs都市 相模原へ

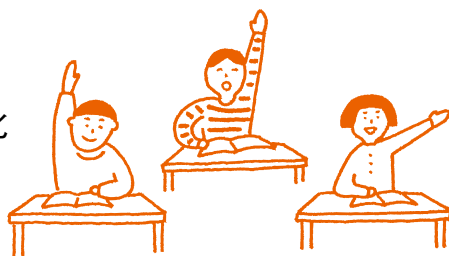
# 合い言葉は 『すべての人に！』 5つの重点方針

## すべての人にアクセス可能な生活移動手段を！

- ⇒ ・ 中山間地域などの公共交通充実
- ・ グリーンスローモビリティなど生活圏域の移動手段を導入・充実

## すべての子育て世代に笑顔を！

- ⇒ ・ 公共施設の個人利用の子ども料金を無料化
- ・ 全天候型子ども遊び場設置を検討
- ・ 小児医療費助成拡大



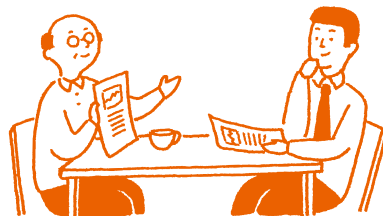
## すべての中学生に温かい給食を！

- ⇒ ・ 令和8年中の中学校完全給食実施



## すべての企業に活力を！

- ⇒ ・ 市内企業への優先発注
- ・ 中小零細企業育成支援強化



## すべての未来のために まちづくり再起動！

- ⇒ ・ 麻溝台・新磯野地区土地区画整理事業
- ・ 橋本駅・相模原駅周辺整備
- ・ 淵野辺駅南口公共施設再整備 等

災害対応  
安心  
福祉、医療  
多様性、差別解消  
環境保全



暮らす



子ども、子育て  
教育  
シビックプライド  
市民協働

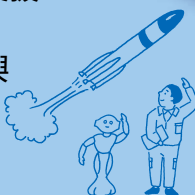
育む

すべてに繋がる  
キーワード

対話  
SDGs

伸ばす

起業、産業支援  
観光振興  
スポーツ振興  
文化振興

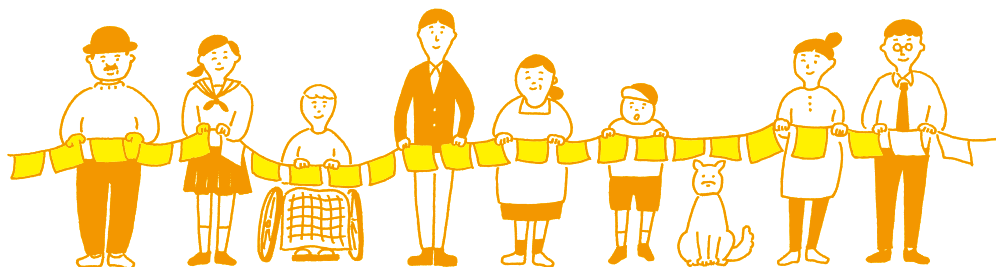


創る

まちづくり  
地域交通  
デジタル化  
環境モデルインフラ  
地方自治



## 行財政構造改革



Manifest

01

暮らし

## 災害対応

近年の異常気象は私たちの暮らしにとって大きな脅威となっています。本市でも令和元年東日本台風で尊い命が奪われるとともに、各地に甚大な被害を受けました。日頃からの災害への備えこそが、万一の時に命を、生活を守る切り札になります。

市民生活を脅かす、突然の災害への備えを加速・充実するため、**災害対応スーパーバイザー (DRS= Disaster Response Supervisor)**を導入します。

また、東日本台風で露わになった森林保全の重要性から、**森林環境マネジメント会議を設置**して国や県、民間企業との連携による実効性ある森林保全政策を推進します。

## 安心

毎日の安全が守られることで、日々の安心が保たれます。

**犯罪被害者を守るための条例制定と実効性のある支援策**を推し進めます。

**津久井警察署や南警察署の着実な移転**に取り組むとともに、**交番機能の充実**を進めます。

また、引き続き**防犯灯の整備促進や歩行者安全対策、自転車運転マナーの向上**に取り組みます。

## 多様性、差別解消

誰ひとり取り残さない、すべての人が笑顔で日々を過ごせるように、**人権尊重のまちづくり条例を早期に制定**するとともに、実効性を担保するための**第三者組織を設置**します。

また、あらゆる差別のない社会をつくるために、市政運営にインクルーシブの視点を積極的に導入して、**市設置の委員会や審議会への障がい者参加をルール化**します。

## 福祉、医療

老老介護や8050問題、ヤングケアラーなど近年の社会構造が生み出した新たな介護課題は支援制度が現実には追いついていないため、介護する人は先が見えない不安にとらわれています。こうした不安に応える受け皿として**新たなサポート制度を検討**します。

また、新型コロナウイルス感染症への対応などから、これまでとは異なる福祉と医療の連携が求められています。新たな課題に着実に対応するため、**保健福祉・医療調整監を新設**して新たな形の支援体制を構築します。

さらに、『第二第三の人生を楽しむなら相模原』を目指す具体施策のひとつとして、高齢者の健康増進と生活支援を推進するための効果的な**生活圏域移動手段の導入**を実現します。

## 環境保全

都市と自然がベストミックスした本市は、誰もが憩える環境に恵まれています。子や孫、その先の世代まで、市民の心のふるさと環境を守り、伝える取り組みを加速します。

その基盤として、**水・森林とともに息づく条例**を制定します。

さらに、既に公表した脱炭素ロードマップを強力に推進するため、**環境持続都市を宣言**します。

5つの湖を有して神奈川県民の水がめでもある相模原市、その豊かな恵みを将来まで守り続けるためには、水と森の力を活用する取り組みが重要です。

豊富な水の力を借りた**小水力発電などの新たな地域電力事業**の検討を進めるとともに、相模原市の豊かな森林を生かして緑の循環ネットワークを創り上げるための**木質バイオマスボイラーの導入**に取り組みます。

そして、小中学校30校に**PPA手法を活用した太陽光発電の設置**を進めます。

また、中山間地の環境保全を具体的に検討する機関として**森林環境マネジメント会議を設置**\*するとともに、豊かな自然を将来まで守り・育てるために同様の課題を抱える都市による**森林保全サミットを開催**して、都市近郊森林のあるべき姿を検討します。

さらに、**公共施設の新築や改修にあたり、ZEB (Net Zero Energy Building) 化**に取り組みます。

\*再掲



Manifest

02

育

む

## 子ども、子育て

子どもを産み・育てる日々の不安と悩みを笑顔に変える、すべての子育て世代から『子育てするなら相模原』と言っていただける強力な支援に取り組みます。

まず、**子育て世代を社会みんなで支えるために、子育てパパママ応援条例を制定**します。

また、令和5年10月から公共の**文化・スポーツ施設の個人利用の子ども料金を無料化**します。

そして、保護者の皆さんが安心して子どもたちを自由に遊ばせることができる**子どもの遊び場事業の実施回数を倍増**するとともに**全天候型子ども遊び場の設置**を検討します。

小児医療についても、財源を確保した上で**医療費助成を拡大**していきます。

さらに、妊娠を望む方や妊婦が安心して出産できる受け皿環境として、**医・学・公連携出産支援プラットフォームを設置**します。

そして、乳幼児期の子育て家庭に安心を届けるために、駅周辺などで**休日一時保育を実施**します。

また、幼稚園・保育所で全国的に生じている課題や事件を未然に防ぎ、万一の際にリアルタイムで対応できる体制づくりを進めるために指定都市が有する**指導監査機能を強化して、担当部長を設置**するとともにフィールド監査専管組織を設置します。

様々な課題や問題を抱える子どもたちを守るため、**既存の児童相談所の機能強化を図るとともに児童心理治療施設や児童養護施設の新設**を検討します。くわえて、スクールソーシャルワーカーを増員（詳細後掲）します。

さらに、子育てしながら気持ちよく働ける企業を育成促進するために、**中小企業等への働きやすい職場環境伴走支援事業を実施**します。



## 教育

子どもたちの考える力や探求する心を育むためにIB（国際バカロレア）教育への取組を検討します。

学校は子どもたちの心とからだの成長を育む大切な場所です。すべての子どもたちが、同じメニューの温かい給食を食べて、食の大切さを学ぶことができる**中学校完全給食の令和8年中の実施**を目指すとともに、生産者と教育委員会、そして行政が連携した**地場産食材供給体制を拡充**します。

学校現場では、不登校児童の支えが強く求められています。これまでの4年間でスクールソーシャルワーカーを7割増員するなど積極的な対策を講じてきましたが、さらに取り組みを進めて4年以内に平成30年度比で2.5倍に増員し、2中学校区に1人の配置を実現します。

日々の学習とともに大切な知育。多くの市民が集い学べる場として、**市立図書館を建て替えて**、指定都市にふさわしい人が集い、学び、知を生み出す中核図書館にします。

加えて、一人ひとりの学びを支援して知への関心や興味に応えるために**図書館の図書購入費を倍増**します。

さらに子どもたちの宇宙への興味や関心、あこがれを大切にするためにJAXAとの連携のもと**博物館プラネタリウムを一新**します。

## シビックプライド

令和3年全国で初めてシビックプライドを冠した条例を制定しました。市民、企業をはじめ相模原市に関わりを持つすべての人が、相模原市を愛し誇りに思う、そんな気持ちを大切にして、これからの相模原づくりに臨みます。そのために全国から**相模原チアリングパートナー**を募ってシビックプライドの向上・醸成に取り組みます。

本市のシビックプライドに貢献いただいているJAXA。そしてJAXAの施設がある市町で構成する銀河連邦。市内に多数ある宇宙産業に携わる企業。こうしたJAXAをキーワードにした個人や企業、団体が遊び心を持って集う**JAXA応援会議を設立**します。

## 市民協働

市民の声を直接市政に反映する。この願いを実現するために市長就任時から実施しているまちかど市長室の取り組みはそのままに、新たに**政策検討提言スタイルの多分野多世代参加型会議（相模原未来会議）を設置**します。

また、まちづくり懇談会やまちかど市長室でいただいた意見や質問への**対応状況を見える化して皆さんに開示**します。

Manifest

03

伸ばす

## 起業、産業支援

JAXAがあり、ロボット分野でも優れた企業が集う本市には大きなビジネスチャンスがあります。

この可能性を広げるために、**基金活用による起業家育成**に積極的に取り組むとともに、時代を牽引する人や企業が集い、情報を交換することで**新たな価値を生み出す新産業創出拠点**を設置します。

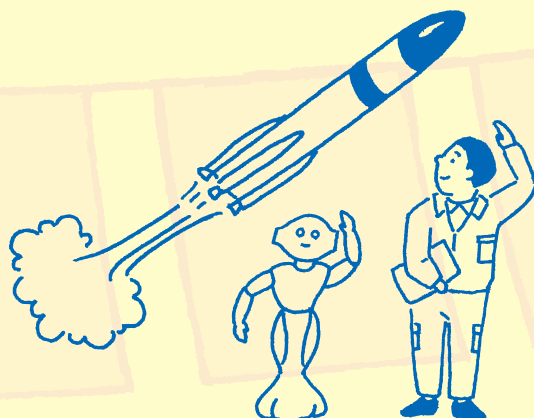
さらに、市内企業、市民とともに**ロボットのまち相模原の具現化**を進めます。

また、これら先端産業では、分野横断的に産業が集積するとともに学術分野との連携が大きな成果を生み出します。私自ら**トップセールスで研究機関や大学を誘致**し、地元産業との効果的な連携に取り組むとともに、本市の経済を支えていただいている**中小零細企業育成支援策**を強化します。

## 観光振興

他都市や市内各観光拠点とのネットワークを強化します。また、本市を構成する緑区、中央区、南区はそれぞれ異なる環境を活かして個性を磨いてきました。区設置から12年間の取組を踏まえて、区へのシビックプライドを醸成してインバウンドや区民交流を増やし活性化するために、**各区の観光振興プログラム**を策定して互いに競い切磋琢磨する観光振興に取り組みます。

市内外からの来街者増加と本市の魅力発信のために、**緑区の自然を生かした道の駅開設**を検討します。





## スポーツ振興

様々な分野で活躍する本市ゆかりの多くの文化人やアスリートを支援するとともに、子どもたちの夢を応援します。

スポーツ分野では、子どもからプロアスリートまで、それぞれのスキルに合うとともに上達に伴いシームレスに練習を移行できる環境づくりに取り組みます。

その第1弾として、**初心者・初級者向けのスケートボード練習場を麻溝公園内に整備するとともに、より高度な技術習得に向けた練習環境として小山ニュースポーツ広場を刷新し、アーバンスポーツタウンを推進します。**

また、相模総合補給廠一部返還地に整備を進める**スポーツレクリエーションパークを令和6年度中にグランドオープン**します。

さらに、市内を拠点とするホームタウンチームや本市出身のプロアスリートが、全国で、世界で活躍しています。本市ゆかりの**アスリートを市民とともに応援する体制を充実**します。



## 文化振興

新型コロナウイルス感染症により社会全体に閉塞感が漂う中、これまで以上に生活に潤いや喜びを求める声が高まっています。

本市には芸術や伝統芸能などの素晴らしい文化が息づいています。こうした息吹を後世まで伝えていくために積極的に文化振興に取り組みます。

中長期的に文化を振興するために、**文化振興費を増額**します。

また、将来までしっかりと文化振興を図るために文化に携わる皆さんと対話しながら、市民文化の**創造拠点としての文化振興プラザの設置**を検討します。

# Manifest

# 04

# 創

# る

## まちづくり

将来の相模原市への先行投資である拠点整備は、あれもこれもでは無く選択と集中の考え方のもと、本当に必要な事業に集中投下して目に見えるまちづくりを推進し、効果を発揮します。

また、政令指定都市間の予算決算を比較すると、本市の建設事業関連経費は、近年ずっと20市中20番目の最下位にあります。行財政構造改革を推し進めることで、生活道路や河川改修、災害対応などもっと市内企業が活躍できる生活に密着した身近なまちづくりに予算を配分します。

麻溝台・新磯野地区土地区画整理事業は皆さんにもご心配をおかけしましたが、ずさんだった計画を抜本的に見直して本来のあるべき姿で再開しました。現在地権者協議を進めており、令和7年度から11年度に整備工事を行い完成した所から順次引き渡しを始めます。

また、橋本駅南口やJR相模原駅北口の関係についても、停滞していた事業計画を根本的に見直して軌道に乗せたので、引き続き着実に推進していきます。

さらに、淵野駅南口の公共施設再整備については、地域の皆さんに愛されるゾーンづくりを実現します。

## 地域交通

市内には16の鉄道駅と134のバス路線があって市民生活を支えています。しかし、これらの駅やバス路線から離れた地域では地域交通の充実が課題になっています。シニア世代の活躍を支援するとともに、地域のつながり・にぎわいを維持するために地域交通の充実に取り組みます。

具体的に、高齢者の健康増進と生活支援を推進するための生活圏域移動手段の導入\*を実現します。

\*再掲



## デジタル化

デジタルトランスフォーメーションへの対応は、行政が最も遅れているのかもしれない。

相模原市の未来を展望した**市民生活の利便性向上と行政事務の効率化を推進するため、DX利活用未来都市条例を策定**します。

その上で、市民の皆さんの大切な情報を一元的に整理統合して最高度の安全性を持って、**窓口キャッシュレス支払いサービスの本格導入**など、SNSの利便性を最大限に生かした行政サービスの提供にチャレンジします。

また、高齢者や障がいのある方が遠方まで足を運ぶことなく行政サービスを活用できるように居ながら各種行政手続きを可能とするシステム構築を進めるとともに、中山間地エリアを対象にした**スマートフォン普及と通信環境整備をセットにした地域生活デジタル化普及事業**に取り組みます。

さらに、橋本駅南口や相模原駅北口の再開発にあたっては、**DXを積極的に導入したスーパーシティの活用**を検討します。

## 環境モデルインフラ

世界は今、来るべき脱炭素社会に向けた準備を着実に進めています。こうした方向は、国レベルにとどまらず、都市においても責任ある対応が求められています。

相模原市は、スマートシティの導入検討はもとより、津久井地域の森林を活用した**資源活用循環型エネルギー活用システムの実用化**や**小水力発電の事業化による地域電力会社の検討\***など**ローカル・カーボン・ニュートラル**を目指して**実効性ある取組を推進**します。

## 地方自治

地方の時代と言われて久しい中、近年、改めて地方自治のあり方が問われています。それは、災害対応や新型コロナウイルス感染症への対応で課題となっている即応体制の確立と実効性ある権限の委譲、そして都道府県との二重行政の解消などです。

こうしたことに対応するためのひとつの形として、大都市制度の**特別自治市の法制度化**に取り組みます。

また、県との連携や県内指定都市間、さらには周辺市町村との協力強化など、**都市間連携の充実**に努めます。

競争力ある都市であるためには、市自らが将来の姿を描き、その未来に向かって必要な政策を立案する力が問われます。新時代の地方自治に向けた**企画立案専任組織EBPM（証拠に基づく政策立案）**を設置します。

# 引き続き行財政構造改革を推進します。

財政健全化・子育て・教育・まちづくり予算の充実へ

実現へ

『子育てするなら相模原』

『教育を受けるなら相模原』

『起業するなら相模原』

『第2第3の人生を楽しむなら相模原』

## ◆行財政構造改革

市民目線に立った市政運営のためには、徹底して無駄をなくし、柔軟な財政出動に備えた財源確保が必須です。そのために引き続き行財政構造改革を推進します。

### ●財政健全化

- ・実現可能施策重点予算化と進捗停滞施策スクラップをルール化

### ●組織刷新

- ・市民サービス視点からの効率的な局再編統合
- ・部の廃止と期限を定めた担当部長制度の導入
- ・課集約統合（即応体制強化、局総務室廃止、同種業務集約、小人数課廃止）

### ●職員意識改革・活性化

- ・待ちの行政から出向く行政へ 市民サービスのあり方抜本改善
- ・管理職階層の課題達成実績に基づく評価制度導入
- ・課題対応策発意による担当制度改善（業務発意・エントリー制度）
- ・民間企業人事交流拡充



発行：相模原から日本を変える！会

相模原市南区西大沼 2-52-13 TEL：042-851-6152 FAX：042-851-6162